

その名大口

※校長通信「その名大口」も3年目になりました。生徒や先生方の懸命な姿に突き動かされ、「大口高校」の元気を徹力ながら発信しようというのが原点です。生徒や先生方の学校に対する「誇りと愛着」は確実に浸透していると感じています。今年度もよろしくおつきあいください。

入学式辞 4 / 7

ただ今入学を許可いたしました81名の新入生の皆さん、入学おめでとう。大口高校を自らの意思で選んでくれたことに「ありがとう」と言いたいと思います。81という数字に感慨深いものがあります。3クラスとしてスタートできます。生徒数減少の中で、全職員で生徒募集に懸命に取り組んできました。それはこの伊佐の地に、国公立大学を含む上級学校への進路実現を図る「普通科進学校」が、どうしても必要だという信念です。保護者をはじめとする地域の方々そして中学校の先生方や伊佐市のご支援等、関係各位のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

本校は、大正十一年創立の旧制鹿児島県立大口中学校と旧制大口高等女学校を前身とする、創立94周年を迎える歴史と伝統を誇る学校です。戦前の普通教育を担う、旧制中学と高等女学校を前身とする高校は、鶴丸高校をはじめとして県下で10校しかありません。大口高校は、まさしく「名門大口高校」であり「北薩の雄」です。大口高校の伝統は、文武両道です。新入生のみなさんも大口高校の誇りを受けつぎ、勉強に部活動に頑張り、この大口高校で大きく成長して下さい。

新しい人生のスタートとなる、記念すべき今日という日に、皆さんに考えて欲しいこと、決意して欲しいことを三つ申し上げたいと思います。

まず第一は、志を持ってほしいということです。その志を考えるにあたって、3年後の自分の姿、さらに20年後の35歳の自分の姿から志を立てることが大切です。想像してみてください。3年後の卒業式、どんな思いで大口高校を巣立っていかようとするのか、次のステージをどこに立とうとしているのか。そして、3

5歳の時に職業人・社会人あるいは家庭人として、どんなポジションを与えられているのか。卒業の時のありたい自分、35歳の時のありたい自分を想像しそこから今何をすべきかを考えては



28年度が力強くスタートしました。「チーム大口」のスタッフです。豊かな人格の完成と進路実現に丸となって取り組みます。新たに12名の先生方を迎えました。

しいのです。

35歳の時のポジションは、自分で決められるものではありません、他人が選び決めるのです。ここが大切なポイントです。部活動でレギュラーになりたいと言ってなれるわけではないのと同じです。あなたがどんな志を持っているか、どんな経歴なのか、どんな姿勢で仕事に取り組もうとしているか、人に誇れる専門的知識や技能があるのかないのかで、そのポジションが与えられます。やりがいのあるポジションを獲得するためには志を持たなければなりません。努力しなければなりません。本気になればなるほど、勉強で、部活動で悩みがでてくることでしょう。その時に、志を持っているか、持っていないかでその受け止め方は大きく変わってきます。志を持っている人は、その壁を乗り越えていくはずで

す。二つ目は、一番目とも関係しますが「高校の3年間とにかく勉強をしよう。基礎学力を徹底して身につけよう」です。一般論ではなくみんなが生きる時代認識から話しています。その時代認識とは、いよいよ「イノベーションすなわち技術革新と英語の時代」が日本にも到来する、ということです。18世紀の産業革命をも上回る大きな波です。機械化やIT化、ロボットや人工知能の普及で、日本は現在の仕事の49%が機械に代わられるという数字があります。2000年までは労働生産性が急激に伸び、それにつれて雇用も伸びてきました。しかし、2000年後から労働生産性は引き続き伸びていきますが、雇用は停滞あるいは下がっていくのです。今までの仕事がなくなるかもしれません。爆発的な変化が続いていきます。そしてどんなに批判してもグローバルゼーションはさらに徹底的に進みます。

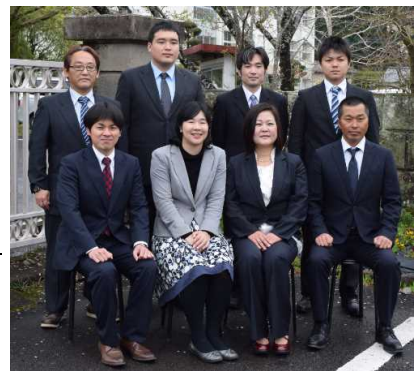
そうした時代をたくましく生き抜くには、しっかり勉強する必要があります。自分の頭で考え判断する

ための基礎学力を徹底して身につける必要があります。地図よりコンパスが重要な時代になり



ます。変化の激しい昨今、地図はすぐに上書きされます。地形や境界線が変わってもコンパスがあれば自分の進むべき道が分かります。進むべき針路、その根拠となる自分なりの哲学や座標軸を持つことが非常に大事なのです。高校の三年間を、激動の時代をたくましく生きていくための土台作りの3年間と位置づけて、勉強に部活動に精一杯取り組んでください。

左上是1学年、右上は2学年、右は3学のスタッフ。1学年は3クラス、2学年は2クラス、3学年は進路実現を図るために3クラス編成としました。全職員、大口高校に誇りと愛着を持っています。



最後に、「豊かな人間性を身につけてほしい」、「接して気持ちのよい人になってほしい」ということです。私たちは人との関わりのなかで生きています。関わりの中で生きていくという実感はありますか。互いの心をひらく元気な挨拶はできていますか。自分を見守り支えてくれる家族や友達、そして指導してくれる先生方に感謝の心を持っていますか。みんなと協力して事を成し遂げることはできますか。自分で決めたことをやり抜く気力と知性を持っていますか。すべての教育活動は「豊かな人間性を身につける」ことにあります。日々の授業、清掃、学校行事、部活動のすべてがそうです。知性を磨き、感性を磨き、人のことを思いやることのできる「心豊かな人」になるのだと決意してほしいのです。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。本日ここに八十一名のお子様をお預かりしました。私ども本校職員は、生徒一人一人の豊かな人格の完成と将来の進路実現を目指し、一丸となって教育に当たる所存でございます。本校の教育活動に対するご理解とご協力そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。